

# 第三回歴教協中間研究集会のご案内

## どうなる日本国憲法、どうする憲法教育

歴史教育者協議会常任委員会

二〇一四年は日清戦争一〇〇年、日露戦争一〇〇年、第一次世界大戦一〇〇年という節目の年です。これらの戦争でアジアに勢力を広げた日本は、その後、さらなる戦争の道を突き進み、多くの人々に多大な犠牲を与えました。一方でこの間、第一次大戦後の国際連盟や不戦条約の成立に示されるように、戦争を防ぐ道を探求する世界の動きも進められてきました。日本国憲法は、戦争への反省とともに、戦争を防ぐためのこの世界の動きを受けて誕生しました。

今、「積極的平和主義」を唱え日本を「戦争が出来る国」にすることをめざす安倍内閣のもとで、「改憲」が現実味を帯びて進んでいます。明文改憲がめざされるとともに、秋の臨時国会では、「集団的自衛権行使」容認、特定秘密保護法や国家安全保障基本法の制定がはかられ、これまでにない「解釈改憲」で日本国憲法が骨抜きにされる事態も憂慮されます。安倍教育改革を先取りするような、教育委員会による高校教科書採択への不当介入、漫画「はだしのゲン」閲覧制限など、

のグループに分かれて分散会を行ないます。日本国憲法の危機を前に、私たちは、今、何をすべきか、率直に語り合いたいと思います。

また、「三・一一」以来、歴教協は大震災・原発の授業実践を追究してきました。まだ進行中の問題を決して風化させることなく、現地の実情をきちんと受けとめることを重視しています。今回は、官城歴教協の阿部広力氏による特別報告「東日本大震災から二年一〇ヶ月」から、被災地宮城の子どもと教育の現実を学びあいます。

### 【集会要項】

- 一. テーマ「どうなる日本国憲法、どうする憲法教育」
- 二. 日時 二〇一四年一月二二日(日)一〇時～一六時三〇分
- 三. 報告・討議と時程

特別報告「東日本大震災から二年一〇ヶ月」

阿部広力(官城歴教協) (一〇時～一二時)  
報告「高校生が思う日本国憲法」

高校生(一二時～一三時四〇分)  
講演「憲法を生かし、安心して生活できる社会を」

伊藤 真(一三時五〇分～一五時三〇分)

分散会討議の柱「憲法教育のあり方、憲法を守るために」

四. 会場 東京都立文京高校

五. 資料代 一五〇〇円(学生一〇〇〇円)

事実上目を向けさせないための統制・規制が、各地に広がられてきています。

このようなときにこそ、あらためて憲法を子どもたちと共に学びあうこと、「憲法とは何か」を学び確認する国民的運動が求められています。今年の中間研究集会テーマは「どうなる日本国憲法、どうする憲法教育」としました。

集会では、まず高校生から、日本国憲法への率直な意見や疑問、改憲の動きをどう思っているか、どんな憲法教育を求めているかなどの発言を受けます。その発言を受けて伊藤真氏に講演をしていただきます。「九条も自衛隊も賛成」という国民の声が多い中で、国民の権利・自由を守り、権力者を拘束する立憲主義の原理、平和憲法の意義をどう子どもたちや市民に伝えていくか、教員は憲法改正の危機の中で、子どもたちとどのように憲法を学んでいくべきかを提起していただきます。

高校生の発言と伊藤真氏の講演を受けて参加者がいくつつか

### 〈申し込み〉

\* FAX・はがき・電子メールで歴教協本部へ。締切日は2014年1月10日。

### 〈連絡先〉

一般社団法人 歴史教育者協議会  
〒170-0005  
東京都豊島区南大塚 2-13-8  
千成ビル  
TEL 03-3947-5701  
FAX 03-3947-5780  
E-mail rekkyo@jca.apc.org

